本書ではQUOカードPayご利用時に、アイメックス社製無線バーコードリーダーを使用する際の使い方について説明しています。

ご使用の前に本書をよくお読みになり、正しくお使いください。

### 1. 箱の中身を確認します

下記のものが全て揃っていることを確認してください。不足しているものや破損品がありま

1個

したら、お問い合わせ窓口にご連絡ください。

□BW-130BT3 本体 1台
□BTR-UK4 USBドングル 1個
□USBケーブル 1本
□単4形アルカリ乾電池 2本

## 2. 各部の名称と機能

ロシリコンカバー

| No. | 名称        | 機能                                |
|-----|-----------|-----------------------------------|
| 1   | ステータスLED  | 装置の状態を点灯/点滅で通知します。                |
| 2   | スキャンLED   | バーコード読み取り時に点灯します。                 |
| 3   | 読み取りウィンドウ | バーコードデータの入力に使用します。                |
| 4   | ブザー       | バーコード読み取り時等、装置の状態<br>を音で通知します。    |
| 5   | 電源スイッチ    | 電源ON/OFF に使用します。                  |
| 6   | トリガスイッチ   | バーコード読み取り/省電力モードか<br>らの復帰時に使用します。 |



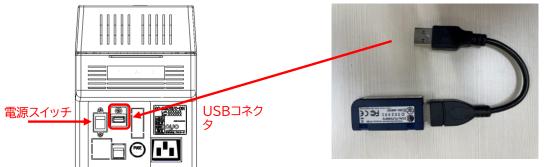
## 3. 各種通知について

## (1)ステータスLED

| 色    | 点滅パターン | 状態                              |
|------|--------|---------------------------------|
| □ 消灯 | 消灯     | 電源が入っていない又は省電力モードに入っている。        |
| □緑   | 高速での点滅 | 電源を入れた直後のUSBドングルとのペアリング設定中。     |
| □青   | 低速での点滅 | バーコード読み取り待ち。                    |
| □青   | 高速での点滅 | USBドングルとのペアリング設定(続く場合は問題発生している) |
| ■赤   | 点灯     | 電池残量が少ない。新しい単4アルカリ乾電池に交換します。    |

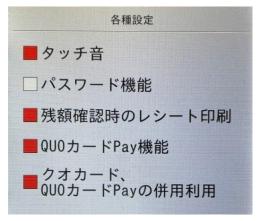
## 4. 使用を始める前の準備

- (1) バーコード本体裏側の電池カバーを外し、単4アルカリ乾電池を向きを合わせてセットしてカバーを閉めます。
- (2) シリコンカバーを装着します。
- (3) USBドングルにUSBケーブルを接続し、QUOカード端末背面のUSBコネクタ部へ 差し込みます。
- (4) QUOカード端末の電源が入っていない場合は電源を入れます(ONにする)



USBドングルにUSBケーブルを接続した状態

- (5) QUOカードPayの機能を利用できる設定になっているかの確認を行います。 ※既にQUOカードPayをご利用いただいている店舗様は設定不要ですが、各設定 がONになっているか念のため確認をお願いします。
- (6) この設定は必ず精算後に実施する必要があります。[先頭メニュー]ー[次のページ] ー[精算/日次締め]の順にタッチし精算を行います。
- (7) 精算後に[先頭メニュー]ー[次のページ]ー[次のページ]ー[設定]ー[各種設定]の順にタッチします。
- (8) [各種設定]画面が表示されるので、[QUOカードPay機能]と[クオカード、QUOカードPayの併用利用]の両方がONになっていない場合は、画面の□をタッチしてONに変更します。「■」がON設定、「□」がOFF設定となります。



QUOカードPayの各設定を ONにした状態

QUOカードPay機能 をONにすることにより、QUOカードPay機能の利用が可能となり、点検や精算時にQUOカードPayの利用情報が印字されます。 クオカード、QUOカードPayの併用利用 をONにすることにより、クオカードとQUOカードPayの併用利用が可能となります

(9) 既にQUOカードPayの各設定がされていた場合は変更せずに [終了]を押します。

#### 5. 使用方法

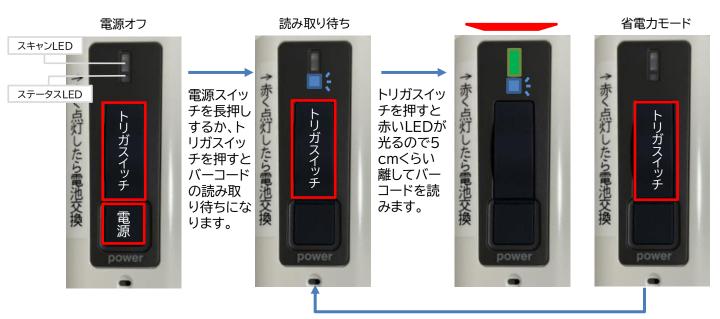
- (1) 電源スイッチを1秒間長押しします(またはトリガースイッチを1回押します) 約5秒でスタータスLEDが「青」の点滅のバーコードの読み取り待ち状態になります。
- (2) トリガスイッチを1回押します(押し続ける必要はありません)
- (3) <mark>バーコードから5cm以上離して</mark>読み取ります。 スマートフォン等の画面に近づけすぎると読み取りにくくなります。 赤い光が消えてしまった場合は、再度トリガスイッチを1回押します。





- (4) 正常にバーコードの読み取りが出来ると、「ピッ」とブザーが鳴動し、バーコードの情報がQUOカード端末へ送信されます。
- (5) 自己診断プログラムでバーコードが読めることを確認します。 QUOカード端末の[先頭メニュー]ー[次のページ]ー[次のページ]ー[自己診断]ー [機器診断]ー[バーコードリーダー]の順にタッチします。

画面のバーコードを読み取り、読取結果OKと表示されれば正しく使用できる状態です。



何も操作をしない状態が2分続くと、ステータスLEDが消灯し、乾電池の消耗を防ぐ省電力モードに変わります。 この状態でトリガスイッチを押すと約5秒後にバーコードの読み取りが可能な状態に戻ります。

## 6. 安全にお使いいただくために

本機は精密電子機器です。必ずご使用前にこの注意事項を読み、記載事項に従って正しくご使用ください。

- ●高温・多湿となる場所や引火性ガスの発生する場所での使用や放置はしないでください。
- ●落下や投げつけなどで、強い衝撃を与えないでください。
- ●単4形乾電池以外の電池は使用しないでください。
- ●発熱・発煙・異臭などが発生したときは、直ちに使用を中止し、乾電池を外してください。
- ●高精度な制御や微弱な信号を扱う電子機器の近くでは使用しないでください。
- ●磁石・ブザー・スピーカー・ブラウン管・RFIDアンテナの近くなど、強い磁界が発生する恐れのあるところで使用、保管しないでください。本体の誤動作・故障の原因になります。
- ●蛍光灯、電子レンジなどノイズを発する機器からはなるべく離して使用してください。ノイズの影響により、正常に通信できなくなる場合があります。
- ●本機は、電波法に基づく技術適合証明を受けた通信機器を内蔵しています。本機を分解したり、本機の内部に触れることは電波法で禁止されており、法律で罰せられることがあります。故障の際は内部の点検等を行わず、お問い合わせ窓口にご連絡ください。



アイメックス社製のバーコードの使用時によくある質問について説明 しています。該当する症状がないかをご確認ください。

| しています。該当する症状がないかをご確認ください。                             |  |  |  |
|---|--|--|--|
| こんなときには   | 原因と対処方法  |  |  |
| 電源スイッチを長押ししても電源が入らない。                                 | 電池が正しくセットされていない可能性があります。 電池の極性(+、-)を確認し、ケースに記載してある正しい向きにセットされているかを確認します。 正しい向きでも電源が入らない場合は電池が消耗しています。新しい電池に交換してください。 新しい電池に交換しても電源が入らない場合は故障している可能性があります。お問い合わせ窓口にご連絡ください。 |  |  |
| LEDが全て消灯した状態からトリガス<br>イッチを押しても読み取り待ちにならない。            | 電源が入っていない可能性があります。 電源スイッチを1秒間長押しして読み取り待ちになるか確認します。  トリガスイッチ(山型の部分) 電源スイッチ  |  |  |
| トリガスイッチを押しても、バーコードの<br>赤い光が照射されない。または時間が<br>かかる。      | 省電力モードになっている可能性があります。 トリガスイッチを1回押して読み取り待ちになるか確認します。 電池消耗を防ぐため、何も操作をしない状態が2分間続くと、 省電力モードになるよう設定しています。省電力モードから 読み取り可能になるまで約5秒かかります。  |  |  |
| バーコードが読み取りにくい。<br>QUOカード端末にある自己診断の<br>バーコードでも読み取りにくい。 | バーコードと読み取りウィンドウが近すぎると読みにくい場合があります。  近すぎると読みに くい  5cm以上離す   |  |  |

5cm以上離して読んでください。

# こんなときには

#### 原因と対処方法

ステータスLEDが赤色で点灯した

トリガースイッチを押したときにステータスLEDが赤く点灯 した場合は電池の残量が少なくなっています。

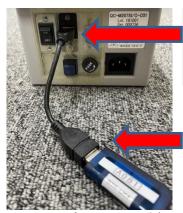


新しい単4型アルカリ乾電池に交換してください。 交換時は電池の向きにご注意ください。

トリガスイッチを押しても、バーコードの 赤い光が照射されず、ステータスLED が青の高速点滅した状態が続く。 USBドングルとペアリングが出来ていないため、ペアリング 先を探しています。



端末背面のUSBコネクタ及びUSBドングルを抜き差しして 接続を確認します。



①本体背面のコネクタ からUSBケーブルを 抜き差しする

②USBケーブルと ドングルを抜き差し

USBドングルのLEDが青色に点灯したらペアリングは正常です。トリガスイッチを押して赤い光が出るかを確認します。





ペアリングしていない → ペアリング正常

トリガースイッチを押してバーコードは 読み取れるが、QUOカード端末にバー コードのデータが反映されない。 USBドングルはLEDが青色に点灯して いる。 バーコードとUSBドングルはペアリングできていますが、接触不良や複数台設置時の組み合わせ違いでQUO端末に バーコードのデータが送られていません。

①上記の高速点滅時と同じ方法で端末背面のUSBコネクタ 及びUSBドングルを抜き差しして接続を確認します。

②QUOカード端末が複数台設置されている場合は、バーコード本体裏側とUSBドングルに貼られている管理番号シールが一致しているかを確認し、違っていたら番号を合わせます。 管理番号シール例: A001

## サポートについて

バーコードが読めなくなった、故障かな?と思ったらお問い合わせ窓口にご連絡ください。 お問い合わせ窓口

株式会社クオカード お客様相談室 電話番号:(0120)396-381

加盟店様用24時間受付